

滝久雄基金海外活動助成 活動報告書【2013・冬】

社会理工学研究科

体験学習テーマ:クールジャパン・アメリカに輸出した日本文化を発見

期間:2014年3月6日～3月30日(アメリカ現地時間)

活動背景:中国に居た時、アニメなどを通して、日本文化が素晴らしい影響力を持っていると感じた。日本に来てから、日本文化が多様な西洋文化を吸収し、受容性が非常に高いということを認識した。日本文化の包容力はただ異文化を吸収することではなく、それ自体の特徴もきちんと維持し、異なる文化を受け入れて、新しい文化を創出することが殊勝だ。日本文化が異文化を受け入れると同時に、どのように西方国に広がっているのかについて興味を持っており、このテーマを提出した。

活動概要:日本の文化輸出の政策と輸出現状のデータを調べ、よく把握する上で、アメリカで現地見学、日本文化が先進国で輝いている様子を実感し、文化の輸出について考えた。

2014年3月6日から23日までは、ロサンゼルスで17日間滞在し、24日から30日までは、ニューヨークで6日間滞在した。具体的には、ロサンゼルスのリトル東京の運営会議の見学、商家との交流、日本人留学生との交流、日本文化に関する展示やパフォーマンスの観覧や、日本アニメファンの集会の参加など多様な形式で体験学習を行った。

文化輸出に関する考え:

感知された文化の価値

味の好みを決める4つの「おいしさ」があると聞いた:1は「生理的おいしさ」食べ物は本当においしいもの、2は「文化的なおいしさ」幼いころによく食べた味を好ましく感じるもの、3は「情報によるおいしさ」栄養価値や歴史価値などが良く知られたもの、4は「病みつきのおいしさ」人為的に精製した食品を食べたときに強く表れるという。

上述に基づいて、アメリカでの見聞も組み入れて考えると、文化を輸出する時、受け取る人の好みを決める「良さ」も4つあると考えている。

1は「本当の良さ」文化自身が特徴をもって、異文化圏に育った人にも共感を呼ぶ。文化は一定の地縁で生み出されると考えている。日本列島の自然状況や天候が日本文化の栄養になっている。リトル東京の布団屋さんの店主に聞くと、和布団を買うのが在米日本人だけではなく、西洋人が日本に旅行に来た時、和布団の良さを感じてから、買いに来てくれていると言う。日本の新興企業ニトリも最近カルフォルニア州で二店舗をオープンした。日本とアメリカのライフスタイルなどが違う背景がある中、アメリカに出す商品は日本とどう違うかを聞いて、ニトリ海外運営管理の方はとりあえず日本と一緒にの商品を出して、売れない商品を修正していく形になっていると答えた。これらの輸出によって、文化や商品自身の魅力が受け入れられることが期待されている。

2は「文化的な良さ」幼いころによく触れ合った文化にはなじみが出てくる。日本のアニメは想像力があふれていて、数多くの青少年の読者が惹かれている。その人たちの日本文化に対する最初の認識が日本との縁を作り出して、将来日本文化をもっと探るきっかけを作った。日本のミュージアムを訪問していたある日本式のタトゥーを入れている白人に日本パターンを選んだ理由を聞くと、彼のお父さんは日本に出張することが多く、彼は子供の頃からお父さんから日本のことを聞いたり、日本の芸術品を見たりしていたようで、日本文化に対するパッションであふれていた。

3は「情報による良さ」ある文化の歴史や価値をよく知る上で、文化の良さを感じることができる。日本文化はアメリカで、多様な媒体でよく発信されていると思う。ロサンゼルスでは日本の本屋さんには賑わっている一方で、Japanese American National Museum では日本人が書いた英語と日本語の本や、日系アメリカ人の歴史の本が数多く揃えている。日本の店舗や商品を紹介する雑誌やチラシもよく配布されている。美術館では、日本の伝統芸術はもちろんアジア文化を代表する重要な一つとして展示されるが、日本の現代芸術もある。



Japanese American National Museum & 日系文化の本&宣伝冊子

4は「病みつきのおいしさ」現代の流行文化や伝播形式と融合させて、感覚に刺激を与えることによって文化の素晴らしさを感じさせる。米国では近年 18 - 29 歳の青年層の間で入れ墨を入れる者が急増し、同年齢層の 36%が入れ墨を入れているという調査がある。その中でも日本式パターンが流行っていて、定期的な展示が行われている。



日本式タトゥー展を観覧している人

本土文化と輸出された文化

見学に行く前に、日本人の友達と文化の輸出について話した。友達は日本文化を日本と全く一緒のように輸出してほしいと言っていた。リトル東京などに行ってみたら、中国や韓国などアジア系のエレメントが常に目に入る一方、そこで見たのはただ日本の文化ではなく、日系アメリカ人の文化も特別な一種として入っている気がする。そこで、文化は一定の地縁で産み育てられると深刻に感じた。輸出した文化が本土文化と全く一緒なら自身の魅力を完全には発揮できないだろう。